

# 事例 69 思考展開シート

## (1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか？

・処方されている便秘薬や向精神薬は、果たして本人に合っているのか。

【質問】医師との情報交換は、行っていますか？また、どういうふうに合わないと思いますか？

【回答】

6週に1回の受診時に家族と同行し、本人の日々の様子や状態を報告している（服用する向精神薬の数は少し減った）。  
現在、パキシルとアリセプトを服用しているが、これらの薬は合わない、との情報を聞いたこともあるので、主治医に確認して家族に情報提供を行った方が良いのかもしれない。

## (4) 音・光・味・におい・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか？

・ラジオやテレビから聞こえる音や声に敏感に反応している。  
・人の声やざわめき、動きがあるとキョロキョロして落ち着かず、大きな声で呼んだり、叫んだりする。

【質問】例外はありませんか？また、好きな環境は、どんなところですか？

【回答】

人の声や物音、動きなどに反応する場合はほとんどのように思われる。  
家族や自分を大切に思ってくれるスタッフが側にいて、横になったり座ったり、話したり、食べたり、会話したりしてゆっくり過ごしているとき、穏やかに落ち着いている。

## (6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか？

・何をどうしていいかわからず、説明されても何を言っているのか分からない。  
・トイレや浴室などに行くときに、どこに連れて行かれるのか、何をされるのか、状況が分からず不安になる。  
・立ち上がった、座ったりの動作が自分で思うようにできないので、人を呼ぶ。

【質問】「言葉」以外で伝わりやすい方法は考えられますか？

【回答】

モデリングや一緒に行うなどの対応では、一応行動はするものの途中でやめてしまうことが多い。本人の意思につなげられるよう、分かりやすい言葉で伝えた方がスムーズに行えることが多い。スタッフの対応力の差が、混乱の有無を生じさせている。

## (2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか？

・排便時に不快感がある。  
・「飲みたい」「食べたい」と空腹の訴えが多く、その都度飲み物や食べ物を出す、「いらぬ」と飲食しないことが多い。

・夜は良く眠っている。

【質問】本人が、「声を掛けてほしい、かまってほしい」と思う前に、声掛けなどができていると思いますか？

【回答】

声掛けはできていないことが多い。本人の訴えがあつて対応しているスタッフが多い。サインに気づいているスタッフもいるが、他の利用者への対応もあり、後手になってしまうことが多い。

## (3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか？

・何をどうしていいかわからず、不安でたまらない。  
・相手が自分のことをどう思っているのか、敏感に感じ、反応している様子がうかがえる。  
・ばかにされたり、強く言われたり、あしらわれたり、あれこれ言われたりするの嫌。

【質問】「何をどうしていいかわからず」にいるとき、どのような配慮をしていますか？

【回答】

まずはしっかり対応できるスタッフが側に行き、かかわる。他のスタッフは、その様子を見て参考にし、今後のかかわりに活かすように意識付けている。

## (5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか？

・本人の訴える声に、複数の職員が一度に答えるため、混乱する。  
・フロアがざわついたり、人が行き来したり、動き回っていたりするとキョロキョロして落ち着かなくなる。

・職員がずっと側についていることはできない。

【質問】混乱しないための工夫には、どんなことが挙げられますか？また、訴えないときのスタッフからのかかわりは、どのようにしていますか？

【回答】

・混乱しないための工夫：  
一番近いところにいるスタッフが応えるようにし、本人と顔を合わせながらゆったりと接する。パタパタ動かないように気をつける。ざわついているときにはスタッフが本人の側にいるようにする。

・訴えないときのかかわり：  
様子を見守る、声を掛け反応を見るなど。

## (8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか？

・自宅の設えや雰囲気と違うので、何がどこにあるのか、自分はどこにいて何をしたらいいのか分からない。  
家族は、自宅にいるときより表情が良く落ち着いていると言っている。

・自宅では普通のソファに座って過ごしていたようだが、ここでは低いソファに座ったり、横になって寝たりしていることが多く、つかまるものがないため一人で立ち上がることができない。

【質問】自宅の設えのように居室を整えることは可能ですか？

【回答】

自宅でも居室はベッドだけで、リビングではソファに座って過ごしていたとのこと。家族はそれ以上の物は持ち込まないと言っている。

## (7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー（活動）とのズレによる影響は考えられますか？

・十八番の歌を歌い始めたとき、その時々雰囲気や他者の反応で気分が高揚したり、怒り出したりする。  
・歌やゲーム、散歩など、良かれと思って働きかけを行っているが、その時々によって反応や状態が違う。

【質問】どんなときに怒り出すか、良かれと思っての働きかけを、本人はどのように思っているか、スタッフ皆で検討した内容はどんなことですか？

【回答】

具体的な場面を振り返りながら働きかけや接し方がどうだったのか、なぜ本人が「不快」だったのか、「快」だったのかなどについてその理由や背景を含め話し合った。

本人の言葉や状態  
ワークシートC- に書いた、本人の言葉や行動を書き出し、  
関連のありそうな情報を整理してみましょう。

・フロアにいるとき、「ここに来て！」「ここにいて！」など、目が合った人に大きな声で訴える。  
・フロアで人が話したり、動いたりしているときに、「助けて。」「分からなくなった。」「どこにいたらいいの？」などの訴えがある。  
・職員と一緒に歌ったり、話をしたりしていても10分程すると、「うるさい！」「だまれ！」「おまえに言っていない！」「あっちに行け！」と職員をはねのけたり、時には手を上げることもある。また、興奮状態がエスカレートし、物をたたいたり、大声で叫びながら地団駄を踏んだりすることもある。  
・トイレ介助時や入浴時、「お母さんに怒られる。」「やめて！」「放っておいて！」などの言葉が出て、抵抗がある。